

政策評価調書（個別票①-1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する		評価方式	総合・実績・事業	番号	2-7
歳出予算額（千円）	20年度	21年度	22年度	23年度要求額		
（ 当 初 ）	60,601,705	55,607,074	22,144,592	21,996,695		
（ 補 正 後 ）	61,567,633	61,905,074				
前年度繰越額（千円）	9,240,744	9,137,140				
予備費使用額（千円）	0	0				
流用等増△減額（千円）	0	0				
歳出予算現額（千円）	70,808,377	71,042,214				
	<0>	<0>				
支出済歳出額（千円）	61,317,909	63,198,166				
翌年度繰越額（千円）	9,137,140	6,936,344				
不用額（千円）	353,328	907,704				
	<0>	<0>				
達成すべき目標及び目標の達成度合いの測定方法	達成すべき目標は「良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等」とする。 目標の達成度合いは、政策チェックアップに業績指標として登録されている「歩いていける身近なみどりのネットワーク率」、「1人当たり都市公園等面積」、「都市域における水と緑の公的空間確保量」、「全国民に対する国営公園の利用者数の割合」の指標値を用いて測定する。					
政策評価結果を受けて改善すべき点	業績指標は目標達成に向けた成果を示していることから、引き続き現在の施策を維持していく必要がある。					
評価結果の予算要求等への反映状況	評価結果を受けて、引き続き現在の施策を維持していく必要があるため、必要所要額を要求した。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名		良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する				番号	2-7		(千円)
	予 算 科 目								政策評価結果等 による見直し額
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	22年度 当初予算額	23年度 要求額		
対応表に おいて● となっているもの	A	1	一般	国土交通本省	緑地環境対策費	緑地環境の保全等の対策に必要な経費	150,000	150,000	
	A	2	一般	国土交通本省	国営公園等事業費	良好で緑豊かな都市空間の形成等のための国営公園等事業に必要な経費	21,994,592	21,846,695	
	小計						22,144,592 の内数	21,996,695 の内数	
対応表に おいて◆ となっているもの	小計						000,000 の内数	000,000 の内数	
対応表に おいて○ となっているもの	小計						< >	< >	
	小計						< >	< >	
	小計						< >	< >	
	小計						< >	< >	
対応表に おいて◇ となっているもの	小計						< >	< >	
	小計						< >	< >	
	小計						< >	< >	
	小計						< >	< >	
合計						22,144,592 の内数	21,996,695 の内数		

政策評価調書（個別票①-3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する			番号	2-7			
事務事業名	整理番号		予算額（千円）			見直し額（A）		政策評価結果又は執行状況の要求への反映内容
		22年度 当初 予算額	23年度 要求額	増減	(B)+(C)-重 複	うち政策評価 結果の反映に よる見直し額 (B)	うち執行状況 の反映による 見直し額 (C)	
合計								

政策評価調書(個別票②) (政策評価書要旨)

担当部局名:都市・地域整備局総務課
 担当者(連絡先):伊藤(内32-133)

評価実施時期:平成22年8月

<p>政策名</p>	<p>良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する</p>	<p>番号</p>	<p>○暮らし・環境-2-7</p>																													
<p>政策の概要</p>	<p>都市における緑とオープンスペースの確保を図るため、道路・河川等との事業間連携、官民協働により、効率的・効果的に都市公園の整備、緑地保全等を推進する。</p>																															
<p>政策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(総合的評価) 良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する施策目標の達成に向けて、その具体的措置として、道路・河川等との事業間連携、官民協働による効率的・効果的な都市公園の整備、緑地保全等を推進してきたが、目標年度における施策目標の達成に向けて順調に推移していることを踏まえて、今後とも本施策の実施内容を確実に推進していく必要がある。</p> <p>(必要性) 都市公園、緑地保全その他公共施設空間の緑化については、これまで都市における緑とオープンスペースの確保等の観点から事業を推進してきたところであるが、生物多様性の保全や地球温暖化防止への貢献、安全な国土の再構築や個性と魅力ある生活環境の維持、美しい景観や文化・芸術への欲求の高まりなどへ適切に対応するため、本施策のより一層発展したあり方を検討していく必要がある。</p> <p>(効率性) 施策のさらなる効率的な推進を図るため、都市公園をはじめとした公有地や民有緑地等の整備・保全・管理を多様な主体の参加・連携により推進するための総合的な施策等を推進した結果、平成21年度予算額は平成20年度と比較して減少している一方で、指標値は前年度と同様又はそれ以上の伸びを示しており、良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等の推進に向け、効率性の高い施策展開を図れたといえる。</p> <p>(有効性) 本施策を推進していく手段として、都市公園の整備、道路、港湾、空港周辺地域での緑化や市街地に隣接する山麓斜面等でのグリーンベルトの整備・保全、下水道施設の緑化等を推進するほか、国営公園の整備・管理、緑地保全制度的な運用による緑地の保全、建築物の屋上や壁面を含む民間建築敷地内の緑化等を支援してきた。これらにより、指標値は順調に推移しており、良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等の推進に向け、有効性の高い施策展開が図れたといえる。</p> <p>(反映の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一層の一体的・総合的な都市公園、緑地保全その他公共施設空間の緑化等の推進 ・多様な主体の参加・連携の推進 ・各種事業の連携・調整の強化 <p>【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p> <table border="1" data-bbox="414 1653 1248 2065"> <thead> <tr> <th rowspan="2">達成目標</th> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">基準値 (年度)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (年度)</th> <th rowspan="2">達成目標・指標の設定根拠・考え方</th> </tr> <tr> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する</td> <td>歩いていける身近なみどりのネットワーク率</td> <td>%</td> <td>約66 19年度</td> <td>約66</td> <td>約67</td> <td>集計中</td> <td>約7割 24年度</td> <td>少子高齢化社会に対応するため、長期的に100%となることをめざしており、初期値との勘案により平成24年度の目標値約7割を設定している。</td> </tr> <tr> <td>一人当たり都市公園等面積</td> <td>m²/人</td> <td>9.4 19年度</td> <td>9.4</td> <td>9.6</td> <td>9.6 (速報値)</td> <td>10.3 24年度</td> <td>緑豊かな生活環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m²に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園の今後の整備予定量から目標値を設定。</td> </tr> </tbody> </table>			達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)	実績値			目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方	19年度	20年度	21年度	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する	歩いていける身近なみどりのネットワーク率	%	約66 19年度	約66	約67	集計中	約7割 24年度	少子高齢化社会に対応するため、長期的に100%となることをめざしており、初期値との勘案により平成24年度の目標値約7割を設定している。	一人当たり都市公園等面積	m ² /人	9.4 19年度	9.4	9.6	9.6 (速報値)	10.3 24年度	緑豊かな生活環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m ² に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園の今後の整備予定量から目標値を設定。
達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)					実績値					目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方																		
				19年度	20年度	21年度																										
良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する	歩いていける身近なみどりのネットワーク率	%	約66 19年度	約66	約67	集計中	約7割 24年度	少子高齢化社会に対応するため、長期的に100%となることをめざしており、初期値との勘案により平成24年度の目標値約7割を設定している。																								
	一人当たり都市公園等面積	m ² /人	9.4 19年度	9.4	9.6	9.6 (速報値)	10.3 24年度	緑豊かな生活環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m ² に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園の今後の整備予定量から目標値を設定。																								

		都市域における水と緑の公的 空間確保 量	m ² /人	13.1	13.1	平成19 年度比 約1%増	平成19 年度比 約2%増	平成19 年度比 約1割増	水と緑豊かで良好な都 市環境の形成を図るた め、第二次新・生物多様 性国家戦略(H14)にお いて、長期的に住 民一人当たりの都市公園 等面積を20m ² に高める ことが目標とされていると ころ。これを踏まえ、都市 公園、特別緑 地保全地区等の今後の 整備予定量から目標値 を設定。
		全国民に 対する国 営公園の 利用者数 の割合	人に1人	4	4	3.8	3.8	3.5	国営公園の整備の進捗 と相関するように入場者 数の増加が図られてきて おり、計画的な整備及び 効率的な管理を推 進することにより、長期的 にはより多くの国民に利 用されることを目指して おり、今後の整備計画か ら平成24年度 の目標値「3.5人に1人」 を設定している。
関係する施政方針演 説等内閣の重要政策 (主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)						
	長期戦略指針 「イノベーション25」	平成19年6月1日	都市公園の整備を始め、NPO等による緑化活動の促進、公共公益施設の緑化の推 進、都市開発事業における緑地等の創出に関わる民間事業者の取組を評価する制度 の開発・普及等、多様な主体による国民運動としての都市緑化活動を展開。						
	21世紀環境立国戦略	平成19年6月1日	緑地の保全、都市公園の整備、公共公益施設の緑化、屋上緑化等を推進すること により都市内において森と呼べるような豊かな自然空間を再生・創出する。						
	観光立国推進基本計画	平成19年6月29日	史跡や名勝、豊かな自然環境など地域の魅力ある観光資源を生かした都市公園の整 備を推進、都市に残された貴重な緑地を保全するとともに市民との協働による緑化 等を推進						
	京都議定書目標達成計画	平成20年3月28日	・公園、道路、河川・砂防、港湾、下水道等の事業間連携等による水と緑のネット ワーク形成等の推進 ・「緑の政策大綱」や市町村が策定する「緑の基本計画」等、国及び地方公共団体 における緑の保全、創出に係る総合的な計画に基づき、引き続き、都市公園の整 備、道路、河川・砂防、港湾、下水処理施設、公的賃貸住宅、官公庁施設等にお ける緑化、建築物の屋上等の新たな緑化空間の創出を積極的に推進する。						
	低炭素社会づくり行動計画	平成20年7月29日	地の保全や都市緑化等の推進						
	社会資本整備重点計画	平成21年3月31日	第2章及び第5章に記載						
	生物多様性国家戦略2010	平成22年3月16日	第2部 7節都市 2 緑地、水辺の保全・再生・創出・管理に係る諸施策の推進						